



初めての取り組み！ 主産県合同の「やまと芋」試食宣伝会が開催！

「やまと芋」主産県合同試食宣伝会

- 期日：7月23日(月)
- 場所：大田市場内 東京青果(株)
- 主催：JA全農ぐんま、JA全農さいたま、JA全農ちば
- 内容：やまと芋の試食宣伝、リーフレットの配布

主産県が協力して大和芋をPR！

7月23日(月)に、主産県(千葉県・群馬県・埼玉県)が協力して、やまと芋の試食宣伝会を開催しました。試食宣伝会には各県のやまと芋を使った料理が並べられ、3県の大和芋の食べ比べが行われました。提供された料理は、千葉県が「簡単浅漬け」、群馬県が「とろろ」、埼玉県が「わさび醤油がけ」で、それぞれ200食分(計600食分)の配布が行われました。また、試食以外にも、各県のやまと芋レシピが掲載されたリーフレットの配布も行われました。

今回のように、やまと芋の主産県が合同でPRを行うのは初めてでしたが、各産地のやまと芋の食べ比べが行える貴重な機会ということで市場関係者の関心も高く、用意した試食が20分ほどで無くなるほどの盛況となりました。

やまと芋の出荷状況については、千葉県では県全体として前年比115.6%の貯蔵量となっており、量は潤沢にあるとのこと。また、群馬県と埼玉県についても、品物は潤沢とのこと。

都中央における本県産やまと芋の位置

平成29年の都中央におけるやまと芋の入荷量は、1位が千葉県(占有率62.9%)で2位が群馬県(占有率24.5%)、3位が埼玉県(占有率12.4%)となっており、上位3県で都中央全体の入荷量の99.8%を占めています。この他の産地としては、栃木県や東京都、北海道などから入荷されています。

本年産では、本県産やまと芋の6~7月の入荷量は前年比118.4%とやや多く、潤沢な入荷となっています。



各県産のやまと芋の展示



本県産やまと芋を使用した「とろろ」



配布された各県のリーフレット

